

報道機関 各位

問い合わせ先:社会教育課 文化財係
担当者:猿渡・瓜生
連絡先:0944-32-9183

市内各地で祇園祭が開催されます

～昨年コロナ禍で開催を見送られていた祭りも復活～

本市では、7月、市内の各地で祇園祭が開催されますのでそのスケジュールをお知らせします。

祇園祭は夏に行われる暑気払いの祭りで、京都の祇園社(八坂神社)に発し、祇園祭の伝播とともに全国に広がったと言われます。

市内においても、スサノウノミコトを祭神と祀る八坂(やさか)神社、八剱(やつるぎ)神社にて祇園祭が行われています。

江戸時代のみやま市は、柳川藩の支配地域で、市内の神社の中には、柳川藩主立花宗茂(たちばなむねしげ)とのかかわりが多くみられます。

柳川藩主立花宗茂は、祇園宮(社)の信仰が厚かったと伝えられています。

祇園祭のスケジュール

7月15日(土)13時～「江浦町祇園」(江浦町の淀姫神社)【高田町】……昨年開催

7月15日(土)19時～「小田祇園」(唐尾の八坂神社)【瀬高町】……4年ぶりに復活

7月21日(金)19時～「大提灯(大提灯まわし)」(上庄八坂神社)【瀬高町】……4年ぶりに復活

7月24日(月)12時～「大人形」(上庄八坂神社)【瀬高町】……昨年開催

7月29日(土)17時～「渡瀬祇園」(渡瀬の八剱神社)【高田町】……昨年開催

祭りの概要

「渡瀬祇園」「江浦町祇園」

・前後に、竹と紙で作られた大蛇を模した作物の、頭と尾を飾り付けた、屋形の付いた山車(だし)―「大蛇山」に人が乗り、太鼓や鉦(かね)を打ち鳴らし、街中を練り歩きます。

「小田祇園」

・花串(はなぐし)で飾られた山車(だし)が地域を巡行し、その下をくぐると無病息災になると伝えられています。

「大人形」

・「筑後の奇祭」として知られ、右に源義家、左に安倍貞任(さだとう)・宗任(むねとう)(1年ごとに交替)の二駆の大人形を安置し、その股下を潜り抜けることで一年の無病息災・平安無事を願います。その後、大人形は境内に築いた祭壇「筍山」に鎮座されます。

「大提灯」

・人物、風景等を魚鱗・魚皮・虫の羽・貝殻・木材などを使って緻密に描いた高さ 2.5m、直径 1mの大提灯が上庄地区を練り歩きます。